

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
21	市川 真未（3）	<p>1. ふじかぐやの湯の在り方について</p> <p>令和2年9月末に完成した新しいごみ処理施設、富士市新環境クリーンセンターの構成施設である余熱利用体験施設、ふじかぐやの湯は、市民にとって重要な生活向上の場だと考える。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきた今、改めてより多くの市民に愛される持続可能な施設として、ふじかぐやの湯の在り方について、以下質問する。</p> <p>(1) 1日平均利用者数とその年齢層について。</p> <p>(2) カラオケルーム以外の有料個室の利用状況について。</p> <p>(3) 営業時間を朝9時から夜9時までと定めた理由について。</p> <p>(4) 地場製品の普及、宣伝にどれだけ貢献しているか。</p> <p>(5) 市民の生活向上のために、ふじかぐやの湯の在り方をどのようにお考えか。</p> <p>2. マイシティレポートの普及について</p> <p>令和2年11月に運用を開始した、市民と自治体が協働してまちの課題に取り組むことができる市民協働投稿サービス、「マイシティレポート」アプリの導入から3年。</p> <p>市民にとっては道路・ごみ・公園に関する困り事を市役所の窓口に行かず、電話もせず、直接スマートフォンから報告することができ、とても便利だと思うが、市民にどれだけ普及し活用されているのか、以下質問する。</p> <p>(1) アプリ登録者数とそれぞれの困り事の報告件数について。</p> <p>(2) アプリとそれ以外の報告件数について、導入前と後でどのように変化したか。</p> <p>(3) アプリの周知方法について。</p> <p>(4) 市民協働の観点から、今後の活用について。</p>	市長 及び 担当部長